



学校だより

No.553

令和 5年 10月31日

練馬区立田柄第二小学校

校長 岩井 一 雄

教育目標 : 元気な子ども ・ 考える子ども ・ 思いやる子ども

One for All , All for One(Future)

副校長 新保 有希子

先日ラグビーワールドカップのフランス大会が南アフリカの優勝で幕を閉じました。今回は時差の関係もあり、多くの試合をオンタイムで観ることはできませんでしたが、観やすい時間帯に日本代表の試合が放映された時は、テレビの前で叫びながら応援しました。

2019年の日本大会の試合を観るまでは、ルールもよく分からず興味もありませんでした。ところが日本代表チームの活躍に世間が沸き、私も例外ではなく「にわかファン」になりました。

今でも詳しいわけではありませんが、ボールを後ろにしか投げられない、ボールを取ってもタックルされて前に進めない、それでも一瞬のチャンスを生かして前に進んでいく・・・そんな選手の姿を見ると、自然と応援に力が入ってしまうスポーツだと思います。熱狂的なファンの気持ちがとてもよく分かります。

ラグビーの精神として「One for All, All for One」という言葉をよく聞きます。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という意味で、合唱の「友達はいいもんだ」という曲の歌詞にも出てきます。

この思いはラグビーに限らず様々なチームスポーツにも通じますし、企業や学校など多くの人の力で成り立つ組織においても大切にされている考え方かと思います。

本校もまさに、一人一人の力に支えられています。多くの方の力を借りて子供たちの学校生活が円滑に進んでいくように取り組んでいるところです。本校の「One for All」をご紹介します。

学級担任をはじめとした教職員、事務員、給食の調理員・・・子どもの学びと成長を支えています
夜や休みの日の施設管理員、登下校時の交通安全指導員・・・安心して学校に通えるように見守っています
校内の環境整備を担う用務主事・・・いつもきれいな環境を整えています
授業中の学習支援をする学力向上支援員・・・主に算数の授業でのつまづきに対する支援をしています
学校生活のサポートをする学校生活支援員・・・子どもに寄り添いながら小さな変化に対応します
スクールカウンセラーや心のふれあい相談員・・・子どもや保護者の心の声に耳を傾けます
教員の事務作業を手伝うスクールサポートスタッフ・・・印刷や掲示など教員の支援をしています
学校の先生を目指す学生ボランティア・・・未来の先生が夢の実現のために現場を経験しています
卒業生の保護者による撮影ボランティア・・・「学校のために何かできないか」と声をかけていただきました
保護者による安心安全ボランティア・・・約50名の保護者の方に登録していただいています

この他にも地域の町会、青少年育成委員会、学童・児童館など、本当に様々な方が子供たちの為に尽力されています。そして何より保護者の皆様のご支援がとても大きいと思っています。学校の取り組みに関心をもち、励ましてくださったりご意見をくださったりすることが、子供たちの成長への一助となっていると思うからです。

子供たちは、直接的・間接的に多くの方とのかかわりを持ちながら大人になっていきます。その関係性をチームとするならば、学校はその要となり人と人をつないでいく場でありたいと思います。

「One for All～一人はみんなのために」に続く「All for One」には、「みんなで子供たちの未来のために」という訳述をつけ、田柄第二小学校の想いとなってほしいと願っています。

11月の生活目標「係や当番の仕事をしっかりしよう」

学校では、学習や生活の中で、様々な個性の友達と関わり、自分と違う人を認め合いながら活動を行います。そして、そのことによって、少しずつ他者を認められる広い心が育っていきます。子供たちには、係や当番の仕事にしっかり取り組ませていく中で、このような心も育てていきたいと考えています。

11月は「ふれあい月間（いじめ一掃取組月間）」となります。「生活アンケート」の実施、いじめ防止ポスターの作成などに取り組んでいきます。